

ふるさと体験活動教室 一の宮中校区 事業報告書

企画指導専門職 高野 茂樹

1 事業概要

- (1) 実施日 平成26年7月16日(水)～20日(日)
- (2) 活動場所 阿蘇青少年交流の家 県立あしきた青少年の家
- (3) 参加者 宮地小学校 76名 古城小学校 11名 坂梨小学校 10名
引率者 15名 ボランティア7名 講師2名
- (4) 事業内容
 - 【7月16日(水)】○仙酔峡から阿蘇を見渡そう ○入所式
○テント作り(草原テント) ○野外調理(あか牛カレー作り)
○阿蘇の民話を聞こう ○ふりかえり
 - 【7月17日(木)】○杵島岳登山 ○野外調理(高菜飯とだご汁) ○ふりかえり
 - 【7月18日(金)】○テント撤収 ○阿蘇検定ウォークラリー
○入所式(あしきた) ○ふりかえり ○スタンプ練習
 - 【7月19日(土)】○ペーロン体験 ○海での活動(飛び込み体験, 磯観察, 海水浴)
○キャンプファイヤー
 - 【7月20日(日)】○ビンゴOL ○ふりかえり ○ふるさとのよさを10年後の自分に伝えよう ○退所式 解団式

2 成果と課題

(1) 成果

- 天候に恵まれて、晴天プログラムで実施することができた。どの活動にも児童は、一生懸命行っている姿がみられた。
- 昨年に比べて、阿蘇プログラムが1日長くなったことで、杵島岳登山や草原テントなど阿蘇のよさを活かしたプログラムを十分に児童に味わわせることができた。
- あしきたプログラムにおいても、海の活動を十分に行うことができ、海がきれいなあしきたのよさに気づいたり、山がきれいな阿蘇と比べたりすることができた児童もみられた。

(2) 課題

- この時期のボランティアを集めるのに大変苦労した。時期の見直しを行い、確実にボランティアを集めていく必要がある。
- プログラムの内容が盛りだくさんであったので、プログラムの内容の精選を図る必要がある。



【阿蘇を見渡そう】



【ドームテント作り】



【野外調理】



【阿蘇の民話を聞こう】



【杵島岳登山（ジオガイドの方による説明）】



【ペーロン体験】



【海での活動（磯観察）】



【出し物発表】

ふるさと体験活動教室 阿蘇中校区 事業報告書

企画指導専門職 高野 茂樹

1 事業概要

- (1) 実施日 平成 26 年 8 月 4 日（月）～ 6 日（水）
- (2) 活動場所 阿蘇青少年交流の家
- (3) 参加者 阿蘇小学校 46 名 阿蘇西小学校 20 名 尾ヶ石東部小学校 9 名
引率者 12 名 ボランティア 11 名
- (4) 事業内容
 - 【8 月 4 日（月）】○大観峰から阿蘇を見渡そう ○入所式
○テント作り（室内テント） ○野外調理（あか牛カレー作り）
○阿蘇の民話を聞こう ○ふりかえり
 - 【8 月 5 日（火）】○杵島岳登山 ○マイ箸作り ○出し物練習 ○キャンドルのつどい
○ふりかえり
 - 【8 月 6 日（水）】○テント撤収 ○阿蘇検定ウォークラリー
○ふりかえり ○ふるさとのよさを 10 年後の自分に伝えよう
○退所式 ○解団式

2 成果と課題

(1) 成果

○児童の感想のなかに、「阿蘇検定ウォークラリーから、阿蘇の自然について知ることができた。」や「大観峰から自分たちの住む町がどうであったのかを、見つけることができた。」などの感想がみられた。二泊三日のなかで、ふるさとのよさに気づくことのできるプログラムであった。

○出し物練習では、グループで話し合いながら、台本を書いたり、道具を作ったりするなど意欲的に活動している子どもたちの姿が見られた。

○最後子どもとスタッフがわかれるときに、名残惜しそうにスタッフへ手をふっている子どもたちがたくさんいた。子どもとスタッフの関わりがとてもよかったことが伺える。

(2) 課題

●一の宮中校区同様にボランティアを集めるのに大変苦労した。時期の見直しを行い、確実にボランティアを集めていく必要がある。

●初日にアイスブレイクの後の自己紹介を、十分に時間を取ることができなかった。（次の野外調理に時間がかかると予想されたため）ゆとりをもったプログラム開発が必要である。



【室内ドームテント作り】



【野外調理（カレーライス作り）】



【阿蘇の民話を聞こう】



【杵島岳登山（ジオガイドの方による説明）】



【出し物のための話し合い】



【出し物発表】



【阿蘇検定ウォークラリー】



【退所式】